

自立活動（聴覚障害教育）

令和4年度特別支援学校教員資格認定試験問題

自立活動に関する科目（II）

（問1～問6 全6問）

時間 9：30～11：10（100分）

（受験上の注意）

- 監督者の「始め」の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 問題冊子は、表紙を除いて1ページです。

試験中に問題冊子の印刷不鮮明、落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。

- 解答は、論述式です。
- 解答用紙は、問別に8枚あります。はずしたクリップは再度使用するので、なくさないようにしてください。

別に下書き用紙が2枚あります。

全ての用紙に、

①受験番号欄

受験番号を記入してください。

②氏名欄

氏名を記入してください。

- 解答は、問と同じ番号の解答用紙に記入してください。

解答用紙のおもて面に書ききれない場合は、うら面に記入してください。

解答用紙の※欄は採点欄です。何も記入しないでください。

筆記用具は、HBの黒鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。

- この試験の解答時間は、「始め」の合図があつてから、100分です。

- 当該試験開始から終了までは、退出できません。ただし、用便や発病等やむを得ない場合には挙手をし、監督者の指示に従ってください。

- 監督者の「やめ」の合図があつたら、解答を直ちにやめ、解答用紙と下書き用紙が回収されるまで、着席したままで待っていてください。

- 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問1 感覚障害児の言語指導法には構成法と自然法という異なる考え方がある。それぞれの特徴、及び適用に当たっての留意点を述べなさい。

問2 感覚障害児童生徒の実態は多様であり、コミュニケーション場面では、実態に合わせて適切にコミュニケーション方法を選択したり、組み合わせて使ったりしていくことが教師に求められる。①この場合の「コミュニケーション方法」とは具体的にどのような方法があるか、②また、「適切にコミュニケーション方法を選択したり、組み合わせて使ったりしていく」とはどのようなことか、具体的な場面を取り上げて説明しなさい。

問3 感覚障害のある乳幼児に対する早期からの教育的対応の重要性を述べるとともに、乳幼児期における教育的対応の内容を二つ以上取り上げ、簡潔に述べなさい。

問4 感覚障害児における仮名单語表記の誤りの特徴とその発達的变化について説明しなさい。

問5 内耳の働きについて述べ、人工内耳が感覚機能を補償する基本的な仕組み、及びその有効性と限界について説明しなさい。

問6 次の（1）～（6）の中から、三つを選び、その事項を説明しなさい。なお、それぞれの解答用紙には、選択した番号と事項を1行目に、書きなさい。

- （1）ド・レペ（de l'Epée）／アベ・ド・レペ（Abbé de l'Epée）
- （2）発音・発語指導
- （3）交流及び共同学習
- （4）感覚障害児の「心の理論」
- （5）耳音響放射（OAE：Otoacoustic Emissions）
- （6）先天風疹症候群による難聴